

令和7年12月 市議会定例会

令和7年度一般会計補正予算を可決

平塚市議会は、令和7年11月25日から12月18日まで、24日間の会期で12月定例会を開催しました。今定例会では、市長提議案として、条例の一部改正や人事案件など31案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。また、議員から意見書提出に関する1件の会議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



「ひらつかシーテラスからの初日の出」
(撮影日 令和8年1月1日)

今定例会では、定例会初日に人事院勧告を踏まえて、一般職員及び特定任期付職員の給料表を改定するとともに、一般職員及び特定任期付職員の期末手当及び勤勉手当の支給率並びに特別職員及び議会議員の期末手当の支給率の見直しを行うほか、通勤手当の見直しに伴い、規定を整備する議案が上程されました。採決の結果、賛成多数で可決されました。

また、特別会計並びに下水道事業会計の各補正予算について、職員などの給料表の改定、期末手当及び勤勉手当の支給率の見直し、並びに人事異動などに伴い人件費の所要の措置を行うための補正予算が上程され、採決の結果全員異議なく可決しました。このほか、既定予算で措置できなかった経費や、不足が見込まれる経費などの一般会計補正予算が計上されました。主なものとして、総務費では、市庁舎本館における

一般会計補正予算の一部を紹介

●庁舎維持管理事業

市庁舎本館における非常照明用蓄電池及び非常用発電機などの起動、制御のための蓄電池を更新するための経費……………1637万円

●公立保育所等施設整備事業

神田保育園の新園舎建設に伴い地盤改良工事を実施するための経費……………1989万円

●地域共創ポイント事業

物価高騰の影響を受けている市内事業者及び市民を支援するため経費……………4億4644万円

●地区公民館管理運営事業

地区公民館における設備などを修繕するための経費……………2548万円

非常照明用の蓄電池などの更新経費が計上されたほか、不足が見込まれる防災ガイドブックの増刷経費や、災害対策のための指定寄附金を活用した防災訓練用資機材購入費などが計上されました。また、経済センサス活動調査などの国の統計調査を実施するための必要経費が計上されました。

民生費では、各種指定寄附金を活用して、子ども・小・中学校及び地区公民館

子育て基金への積立金や、知能検査用具購入費が計上されたほか、神田保育園の新園舎建設に伴う地盤改良工事費が計上されました。衛生費では、各種指定寄附金を活用して、子育て支援や市民の健康増進に資する備品等購入費が計上されたほか、大磯町し尿処理施設の修繕に係る負担金が増額されました。

労働費では、勤労者共済会補助金について、事業費の増加に対応するため、増額をしました。

農林水産業費では、環境負荷に配慮した農業活動を支援するための交付金が計上されました。

消防費では、不足が見込まれる救急活動用品購入費が計上されました。

教育費では、教育振興のための指定寄附金を活用して、地場産食材を使った学校給食を提供するため、給食材料費を増額するほか、

における各種設備の修繕料が計上されました。また、中央図書館分館で使用する什器等購入費が計上されました。このほか、不足が見込まれる幼稚園及び美術館の光熱水費が増額されました。

また、本会議第5日には、乳児等通園支援事業に関する新たな条例が2件追加提案されました。

常任委員会では、実施する際の施設数をどのくらい予定しているのか、また、申請時のシステムの使い方についての周知方法などが問われ、賛成多数で可決しました。

◆指定管理者の指定
指定管理者の指定に関する4議案について、採決の結果、全員異議なく可決しました。

今定例会の最終日には、物価高騰の影響を受ける市民生活を守り、支えるため、子育て応援手当の支給など、物価高騰への対応に係る所要の経費を措置するとともに、事業が年度内に終了しない見込みであることから、繰越の設定をする追加の補正予算が提案されました。質疑の後、全員異議なく可決しました。

◆人事案件に同意
任期満了を迎える監査委員の後任者を選任する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

○能勢祐二氏(横浜市保土ケ谷区)

主な内容

総括質問	2～7面
清風クラブ	2・3
野崎審也 片倉章博 坂間正昭	
湘南フォーラム絆	4
山原栄一 白井照人 出村 光	
公明ひらつか	5
上野仁志 岡崎通子 秋澤雅久	
しらさぎ・無所属クラブ	6
元島しん 渡部りょう	
日本共産党平塚市議会議員団	7
松本敏子	
無所属	7
佐藤由美子 小泉春雄	
常任委員会の審査概要	3面
審議の結果	8面